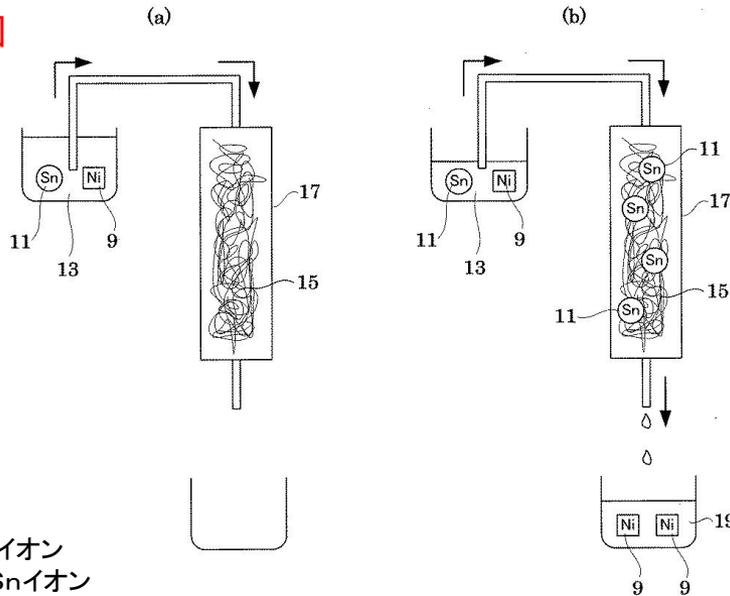


廃棄物処理

処理の困難なめっき用の金属を分離回収するリサイクル方法

発明の名称	めっきメディアから金属を分離回収する方法、およびめっきメディアのリサイクル方法		
出願人/権利人	中村 秀美、東邦焼鈍株式会社	発明者	中村 秀美
出願日	平成30年3月19日	出願番号	2018-051023
公開番号	2019-26928	特許番号	6491771
法的状態	登録中		

代表図



- 9 ... Niイオン
 11 ... Snイオン
 13 ... 金属混合水溶液
 15 ... 陰イオン交換繊維(陰イオン交換材)
 17 ... カラム
 19 ... Niイオン水溶液

発明の概要

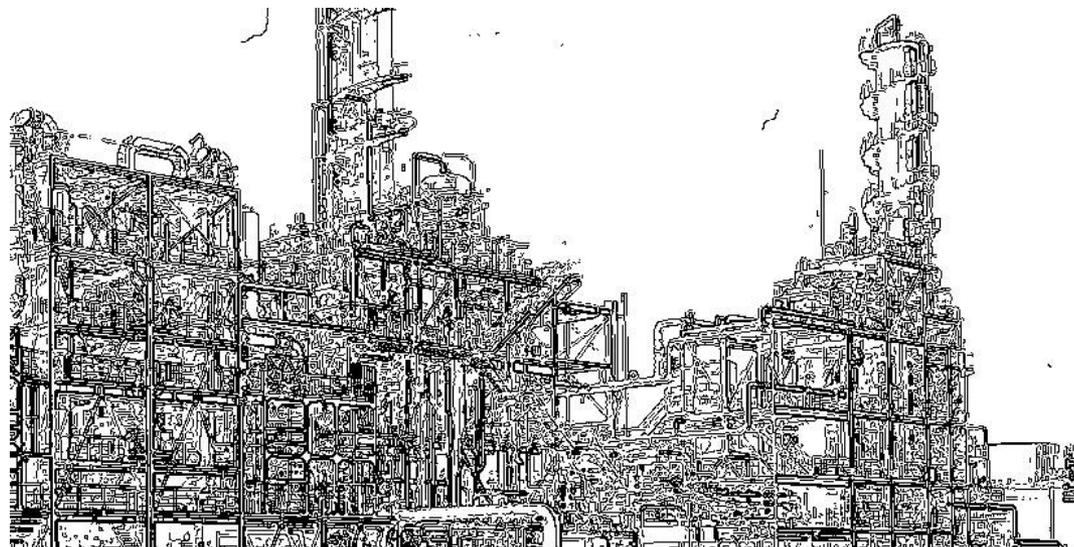
処理が困難な廃液の発生をより低減できるめっきメディアから金属を分離回収する方法

特徴

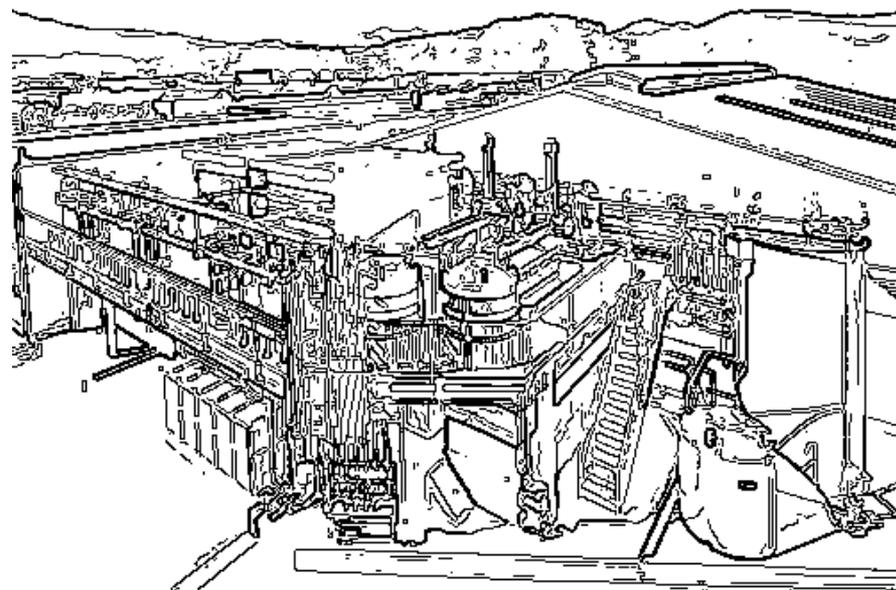
バレルめっき法などに用いられるめっきメディアにおいて、使用済みのめっきメディアから金属を分離回収しつつ、めっきメディアを再利用可能とするためのめっきメディアから金属を分離回収する方法と、めっきメディアのリサイクル方法である。従来のイオン交換法と異なり、金属混合水溶液から特定の金属イオンを選択的にイオン交換材へ吸着させられるので、より高い精度でSnイオンとNiイオンとを分離できる。また、水でSnイオンを脱着できるので、廃液の処理や金属イオンの分離に要するコストおよび手間を大きく削減できる。さらにNiやSn等のめっき用の金属を廃棄せず有効に利用できる。

関連分野

金属製品、ケミカル、業務用機械



化学薬品工場



廃液処理施設

応用の可能性

- ・化学薬品工場
- ・廃液処理施設
- など

本技術の活用が見込める企業の一例

- ・株式会社サクラ
- ・篠永化成株式会社
- ・メルテックス株式会社
- ・上村工業株式会社
- ・日本高純度化学株式会社
- ・大和化成株式会社
- ・小島化学薬品株式会社
- ・石田産業株式会社
- ・石原ケミカル株式会社
- ・パックス株式会社
- など

東邦焼鈍株式会社の当発明に関する最新動向

- ・同社のホームページ(<http://www.toho-shouton.com/>)には、本件特許に関連する動向情報は見受けられない。